

1つの答えを出すことの難しさ

多くの先人たちのおかげで今がある



笑輝

第3号
加賀中学校
校長室

加賀中学校 校歌・校章



吉備の空を行くあの鳥のように
雄々(おお)しく高くはばたこう
英知(えいち)を翼に希望を胸に
未来に向かう心意気
学びの庭に陽射(ひざ)しあり
いざわれらが力加賀中学校

吉備の山に咲くあの花のように
優しき愛を育てよう
友愛の灯(ともしび)は友から友へ
笑顔ひろがり世界へと
学びの日々に平和なる
いざわれらが誉(ほまれ)加賀中学校

吉備の野辺(のべ)流るあのかの川のように
風雪(ふうせつ)耐(た)えて輝け
心も体も逞(たくま)しかれと
恩師の励(はげ)まし背に受け
学びの三年(みとせ)はつらつと
いざわれらが栄え加賀中学校



平成26年度に開校した本校は、今年度、開校13年目を迎えます。その基となった4中学校「加茂川」「竹荘」「吉川」「大和」の出発は、戦後、新制中学校として、昭和22年に開校しました。来年度が80周年となります。

本校の開校にあたり、当時の関係者の方々は、どれだけ多くのことを協議したのでしょいか。校名・校章・制服・体操服・体操帽子・体育館シューズ・ナップサック・上履き・通学カバン・生徒心得・教育課程。(おそらく、数百項目以上の検討すべきことがあったはずです。)

さて、最初に紹介した本校校歌は、校名決定後、数曲の候補の中から決定されました。当時の資料によれば、作詞意図は、吉備の豊かな自然に呼応して、若人の逞しく成長する姿を謳うとともに、「英知」「友愛」「意気」の日々、積極的に生きる大切さを知ることです。

また、校章は274点の応募デザインの中から、決定されました。デザイン意図は、加賀中学校の「か」の文字を校章のメインに図案化し、吉備高原と統合する4校を宇甘川の清流でイメージして、豊かな自然に育まれた環境のもと、伸びやかに大きく成長していく加賀中の生徒を表現しています。(校章が白黒ではないのも素敵です)

校歌・校章だけを取り上げても、唯一の正解はありません。これら一つひとつのことに對して、新設中学校開校準備委員会の方々は、各作業部会を立ち上げ、検討してきたのです。

改めて、当時の関係者の皆様に、敬意を表したいと思います。そして、本校に込められた想いを深く受け止め、原点に返り、今の生徒たちのために力を尽くしていきたいと思ひます。

ようこそ加賀中へ



新入生歓迎会 4月14日(火)

執行部による開会の言葉から始まった新入生歓迎会。委員会紹介(執行部・学級・風紀・厚生・給食・文化)、部活動紹介(バレー部・吹奏楽部・テニス部・美術部・卓球部・野球部)が行われ、その後、1年生が、各部活動を見学しました。

全校生徒208名が一堂に会して行われた新入生歓迎会は、発表者に対する歓声と拍手と笑顔というリアクションにより、208名の心を一つにしました。1年生のために、楽しい会にしてくれた、2・3年生の皆さん準備・運営・片づけに至るまで、本当にありがとうございました。5月29日(金)には、第13回笑輝祭体育の部が開催されます。全ての生徒の皆さんが、主役となる行事にしたいですね。1つの答えを出すことは、難しいけれど、全校で納得解を導き出していきたいと思ひます。期待しています。